

第 7 回

UD まちづくり動画の検討

(1) プログラム

日 時 | 11月2日(土) 13:30 ~ 16:30

会 場 | 江東区文化センター 5 階 第 6 ~ 8 会議室

内 容 | UD まちづくり動画の検討

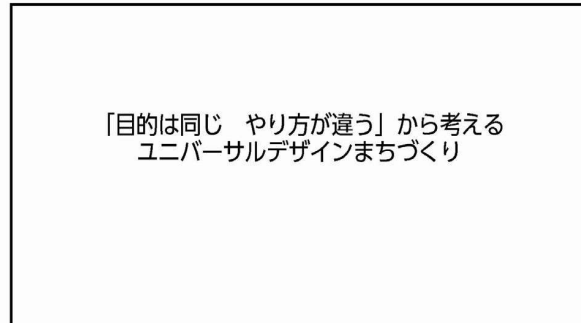
- ・ 深川高校の授業で実施したことを元に、どんな動画をつくったらよいかを検討しました。

タイムテーブル |

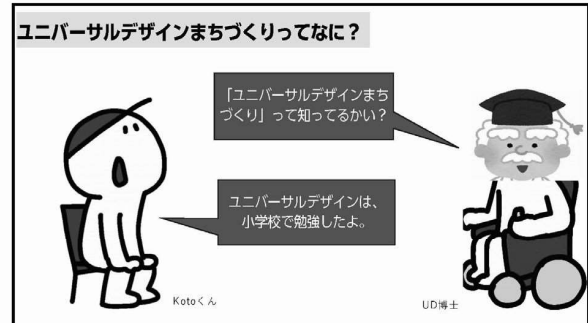
- 13:30 (40 分) 本日の進め方 / 前回のまとめ
 - ・ 動画案紙コンテの説明
- 14:10 (60 分) グループワーク
 - ・ 紙コンテを元に意見交換
- 15:10 (10 分) ~ 休憩 ~
- 15:20 (60 分) 意見の共有
 - ・ 発表 (5 分 × 5 G = 25 分)
 - ・ 全体で意見交換
- 16:20 (10 分) 事務連絡、アンケート記入
- 16:30 終了

(2) UD 動画の絵コンテ案

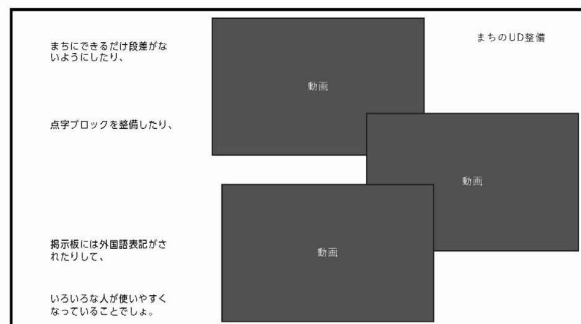
以下のような絵コンテ的な UD 動画の案を元に、グループワークで検討した。



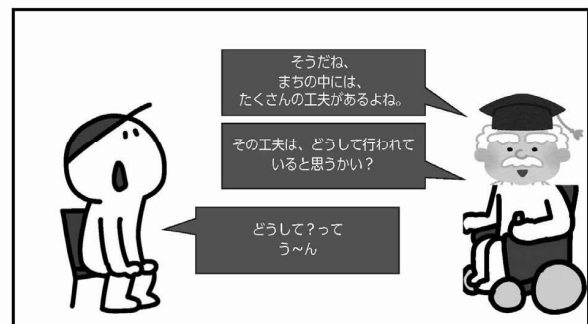
1



2



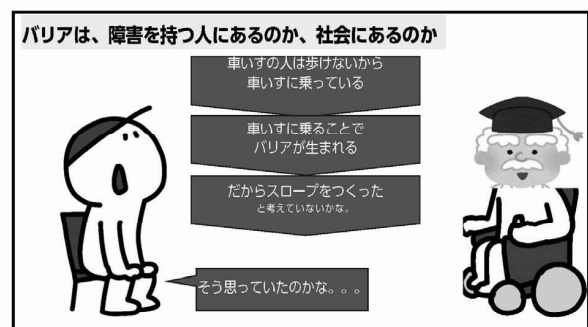
3



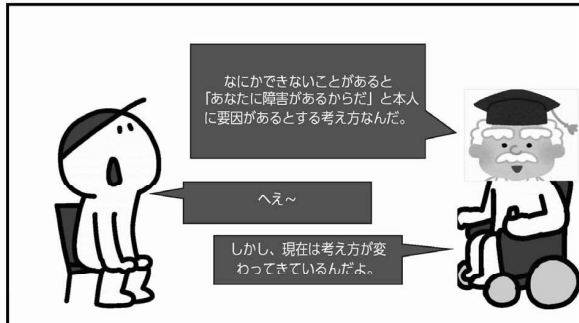
4



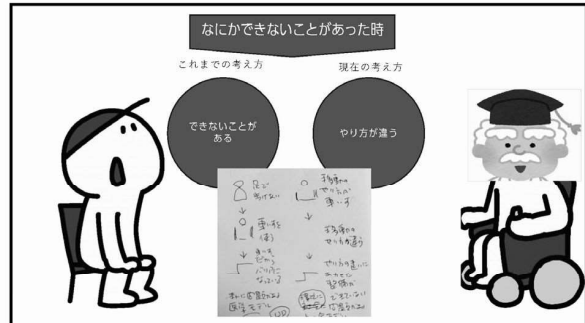
5



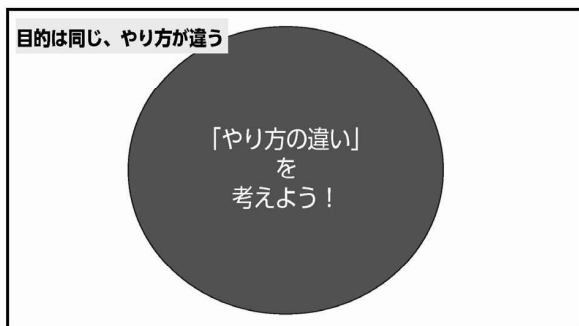
6



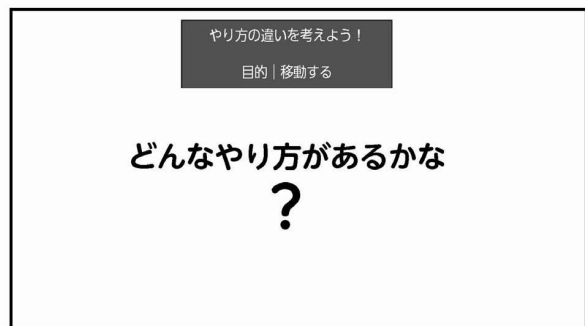
7



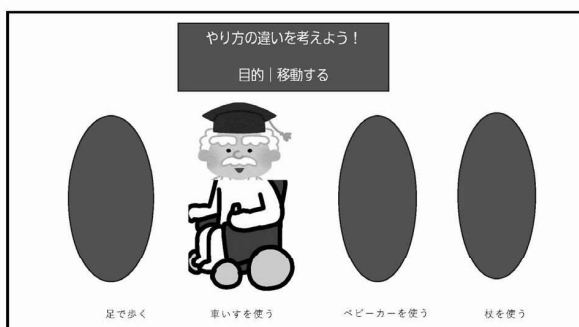
8



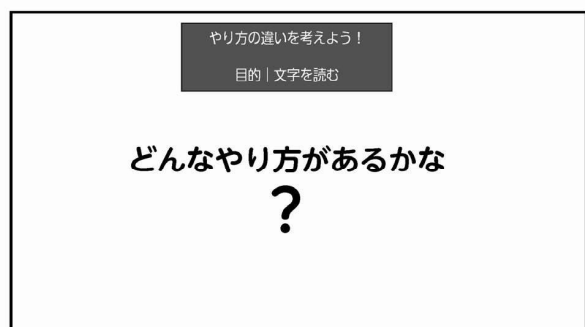
9



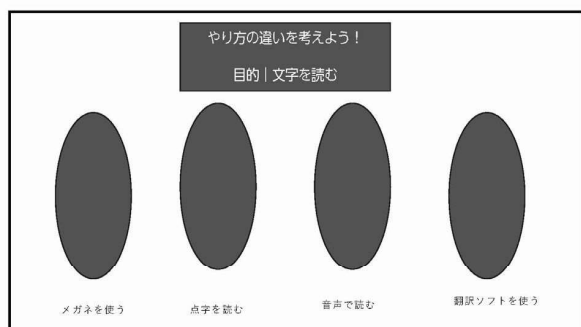
10



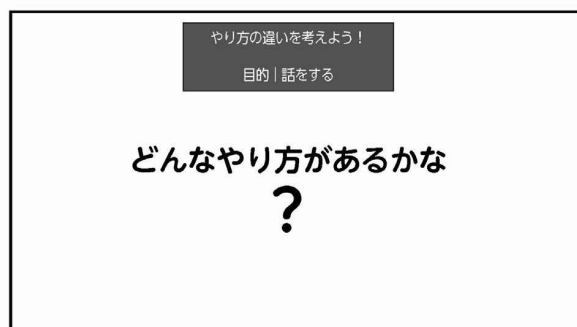
11



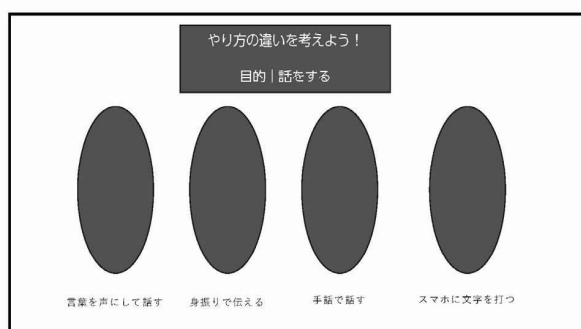
12



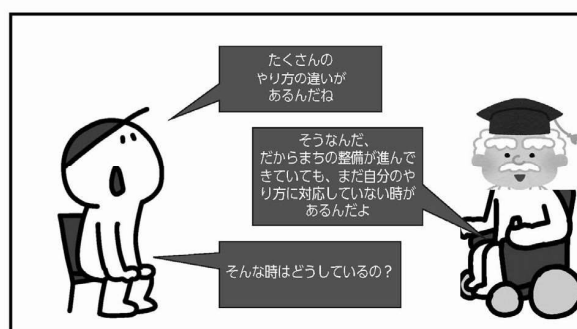
13



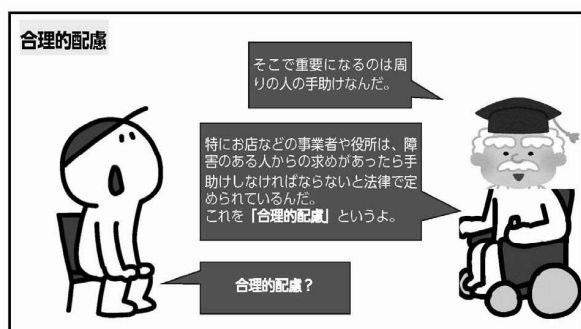
14



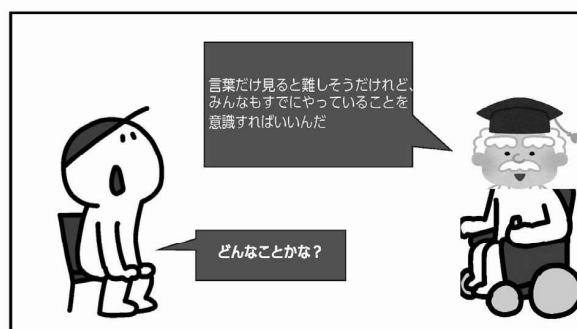
15



16



17



18

合理的配慮で大切なこと

●**コミュニケーションが大事**
合理的配慮を提供するには、お客がどんなニーズを持っているかの確認が必要で、そのためには「コミュニケーション」が大事です。

●**建設的対話**
時には、そのニーズをかなえるのは無理なことがあるかもしれません。そんな時はできることとできないことを説明して、お互いに納得できる解決策を見つけ出すことが大切です。これを「建設的対話」といいます。

19

まちでおきていることを寸劇で見よう
ここはドラッグストア

いらっしゃいませ

ボディソープを探しているのですが。

2階でございます

エレベーターはありますか？

当店にエレベーターはないのですが

そうですか、..

20

こんな時は
どうしたらいいのだろう。。。

21

あなたが店員さんだったら
どうする
？

22

ここでは、こんな建設的対話が行われました

いくつか商品を1階に持ってきた
いただけますか？

車いすを2階に担ぎあげなく
てもいいんだ、商品を1階に
持ってくることはできるぞ！

はい、お持ちします。

23

寸劇の解説

エレベーターがない環境だったので、人の助けてカバー
しました。

車いすを担ぎ上げることは無理と判断し、建設的対話の
中で知恵を出し、2階から商品を持ってくるという合理的
配慮を行いました。

24

合理的配慮クイズ
Q1

こうした人の助けで解決できるならば、費用のかかるエレベーターは無くてもよさそうです。お店としては以下のどちらを目指すといいと思いますか。

- ① レベーターの設置をめざす。
- ② スタッフの接客力を向上させる訓練を行う。



25

合理的配慮クイズ
Q1 回答

両方

今回は店員の助けで解決できましたが、やはりお客さんとしては自分でその売り場に行きたいものです。

エレベーターはすぐには設置できないとしても、将来的な設置をめざし、当面は従業員がきちんと接客できるようにする必要があります。



26

合理的配慮クイズ
Q2

レストランに白杖を持った視覚障害のある人が来たので、店員が点字のメニューをテーブルに置いて「注文がお決まりでしたらお呼びください」と言って、呼びベルを渡しました。この接客をどう思いますか。

- ① 気が利いていて良いと思う。
- ② ちょっと違うと思う。



27

合理的配慮クイズ
Q2 回答

②ちょっと違うと思う。

視覚障害のある人は点字が読める人もいますが、読めない人もたくさんいます。

確かに①は手慣れた感じですが、そのお客が何を求めているかを確認せずに、自分がいいだろうと思う方法を押し付けています。点字が読めない人には、店員がメニューを読み上げるといった対応が必要ですから、まずはお客がどういった対応を求めているかを聞くことから始めることがポイントです。



28

ユニバーサルデザインまちづくりをすすめよう

まちの中でも何かに困っている人を見ることがあると思います。その人のやり方にあった整備がされていないので、困っているのです。その人のやり方が人の手助けできないかを考えましょう。

まずは声をかけ
手伝いが必要かどうかを確認

手伝いが必要だったら
どうすればいいかを聞いて
手伝う

動画

29

まちの整備は進んでいますが、やはりまだ使いづらい人はいます。時には人の助けも必要です。まちにいるみんながお互いにコミュニケーションをとりながら、より住みやすいまちをめざすこと、それが「ユニバーサル・デザインまちづくり」の目標です。

動画

30

(3) グループワーク 主な意見

■目的

- ・合理的配慮や「目的は同じ、やり方が違う」を、江東区として制作するのはなぜか？ 本来、国や世界で取り組むべきことではないか②
- 江東区が暮らしやすくなるため、都市整備につなげるため、UD を区民に理解してもらう。区が動画をつくる目的を動画でも伝えられると良い②

- ・世界の流れ、自治体で取り組む意義などは副読本に入れることを検討。

■対象やテーマ

- ・動画を見る人はUD を知らない人、そうした人にもわかるようにしたい②
- 動画の内容は、重い内容だが核心をついている。UD に興味の無い人は仕方が無い②
- ・現案では注目ポイントは書いてあるが、一番伝えたいことをはっきり伝えるべき。現在は解説など情報量が多い②
- わかりやすく伝えるため単純化すると、例外を切り捨てる恐れがある②
- ・伝えたいことは、合理的配慮なのか社会モデルなのか。絞った方がいい③
- 動画では、やり方の違いはあるが全て対等であることを伝えられると良い。自分ごととして見てもらえると良い③
- ・初見で「やり方の違い」と言われてもわかりにくい。「目的は同じ」について本を読んでいるシーンと点字を読んでいるシーンを同じ画面で対比させる。このシーンを見てからクイズに答えさせると理解が進む①
- ・合理的配慮をより分かりやすく説明したい④
- ・対象が12才～大人となっているが、子どもには難しいのでは（全体）。→中高生以上をメインの対象と考える。
- ・「建設的対話」「合理的配慮」「環境の整備」といった言葉は難しい、意味がよく分からない。別途説明が必要①
- ・合理的配慮は、適切な調整（Reasonable accommodation）の方が理解しやすい①

- ・初心者もわかりやすい動画にしたい。
- ・動画のテーマは「目的は同じ、やり方は違う」に絞った。

- ・目的は同じで、やり方の違いを平等に見せる工夫をしたい。

- ・社会モデル、合理的配慮については、副読本で説明する。

■全体（動画編集の工夫など）

- ・かみ砕くことは重要だが、内容は必要なことのみにする④
- ・ステップ1、ステップ2と続くと、いつまで続くのかと思ってしまう①
- ・同じ絵が続くと長く感じる①
- ・字幕を入れる①
- ・複数の動画が小さく入るよりシーンを変えた方がいい（まちのUD シーンなど）①
- ・イラストのkoto ちゃんと博士は、最後に実写（高校生や川内先生）が現れると楽しい①
- ・アニメーションと動画が混在しているが別々の方が良い。わかりづらい②
- アニメーションと動画が混ざっていても、わかりやすいと思う②
- ・冒頭のクイズの表現はアニメーションの方が良い。クイズもテロップをつけて、分かりやすくしてほしい③

- ・動画をわかりやすく見せる工夫をする

■構成

- ・全体の流れは、提案のとおりで良い②
- ・アイスブレイクの1)、2) は見てわかりやすいと思う②
- ・障害を分類すると視覚、聴覚、肢体の3つが基本。時間を短くしたいがどれかを削ることは難しい③
- ・動画の時間が長いと飽きてしまう。視覚障害者、聴覚障害者に分けた方がいい②

- ・3 障害の寸劇を入れた

- シーンごとに動画を分けるのもありか②
- 動画編集はプロに任せて良い②
- ・3人の障害者が一緒にレストランに来店するシチュエーションはどうか③
- ・「クイズ」→「寸劇：間違えた方法」→「寸劇：正しい方法」→「寸劇：もっと良い他の方法」を、3つの障害ごとに一連の流れで見せてはどうか③
- ・「正しい方法の例」がいずれも「当事者にニーズを聞く」になるので、3つ連続すると途中でパターンが見えて答えが分かってしまうかもしれない③
- ・動画を分割するなら、コンビニに車いすの方が来る寸劇も入れてもいいのではないか④
- ・説明を受けるよりも、寸劇で見た方が分かりやすい③
- ・最後に20秒くらいで解説があると良い。「合理的配慮」の単語はあっても理解してもらえるのではないか③

■導入

- ・あまり急いでテンポ早すぎに注意。「ゆっくり茶番劇」「ゆっくり動画」①
 - ・導入は文字の量を少なくして、図やイラストで表現①
 - ・「10分で学べるUD」のように、全体像がわかるとよい①
 - ・導入にパラリンピックが入ると理解が進むのではないか①
 - ・いろいろな人がいるまちの風景から入り、それから内容に入る①
 - ・サブタイトルと説明で伝えられると良い②
 - ・導入の寸劇の量は検討が必要。導入は必要だが、ここまでかみ砕かなくても大丈夫。導入の内容は文章を入れつつサブテキストで補足できるようにする④
 - ・クイズからスタートし、最初に掴みをつくる。最初に考え方など難しい内容から始めると分かりづらい。UDに関心のない人でも興味を持てるような構成を工夫③
 - ・授業で見るなら、最初にクイズがあった方が参加してみようと思える③
 - ・つかみは大事。ここで難しいと思われると見てもらえない。解説から入ると寝てしまう（全体）
 - ・クイズからいきなり始まるより、身近なUDの例から始まった方がわかりやすいのでは（全体）
 - ・まちの風景から入るといいのはありだと思う。特に横断歩道の2cmの段差についていれられないか（全体）
- ・できるだけクイズを導入した
 - ・字幕を入れた
 - ・冒頭はまちのシーンから始めた

■内容（シーン）

- ・困っている状況を具体的に示した方が良い②
 - マスクをしている店員とのやりとりは、よく困るので加えられると良い。病院の窓口で困ることが多そうだ②
 - 中途失聴の人は発話できるので、障害があると伝わりづらい。見た目ではわかりづらい障害や人もいることを伝えたい②
 - ・障害の困りごとや解決方法を細分化するときりが無くなりそうだ②
 - ・障害者をひとくくりにはできるのか。どうしても身体障害者がメインになってしまう。生活しづらさを抱えている人は社会に多くいることも伝えられると良い②
 - ・障害が軽度であればある程度生活のしづらさもカバーできるが、できない人もいるのが、今回の動画で取り上げる対象になるか②
 - ・やり方の違いが話の中心になってくる。ここを重点的に説明する④
 - ・視覚障害者の当事者として、自分のやり方が他にもある④
 - ・現在のやり方の違いの3つの説明は、障害ごとのイメージだが、障害の種類や有無を超えてやり方は様々なことを伝えたい④
- ・動画で入りきれない困りごとなどは、できる限り副読本で解説することを検討

- ・移動の方法の事例に白杖を足すといいのではないか④
- ・情報を手に入れる手段としてのコミュニケーションのやり方を考える例もいい④
- ・寸劇の場面設定は、ドラッグストアストアよりもコンビニの方が身近ではないか④
- ・合理的配慮の対話の重要性を伝えるためのクイズの事例は重要だが、視覚障害者としては点字付きのメニューを渡されることはあまりない、例を変えてもいいのでは④

■ YouTube の活用について

- ・タイムコードを活用する①
- ・リンクさせて短いシーンが分けて見られる①
- ・概要欄は見ない人多い①
- ・寸劇を見せるには解説と見せ方（劇）とセットが必要①
- ・動画がひとつだけなのはもったいない①
- ・4つの寸劇（高校で実演）は音声を撮り直してもよいから活用できないか（寸劇の内容が解りやすかった。今まで誰かが言っていた意見がつまっている集大成と感じた）①
- ・AC ジャパン CM のように PR し、UD や合理的配慮を考えるきっかけをつくる②
- ・江東区ホームページに整理して動画が見られるようにできるか③
- ・YouTube で一連の動画を連続視聴できるなら、短編を複数作ることができる③
- プレイリストも使えるが、今回の仕様だとタイムコードの方が良い③
- ・動画の分割は必須（スライド P.1 ～ P.8、P.9 ～ P.24、P.25 ～最後までを区切る④
- ・高校生は YouTube よりも Instagram や Tik Tok の方を見る④

- ・YouTube へアップする際は、見やすさなどを工夫する

■ その他

- ・英語版があっても良いか。深川高校の外国語コースにはネイティブの人もいたので手伝ってもらえないか①
- ・一クラスで集中的にできたので、授業としては今年の方が去年より良かった④
- ・高齢者体験や展覧会など、体験をきっかけに関心を持ってもらえると良い②